

平成 24 年度 春期 情報セキュリティスペシャリスト試験 解答例

午後Ⅱ試験

問 1

出題趣旨	
<p>災害復旧対応では、災害発生時の状況を想定し、有効かつ具体的な計画を作成しておくことが重要である。インターネットに接続されたサーバは、災害復旧対応に重要な役割を果たすが、同時に十分な情報セキュリティ対策も求められる。</p> <p>本問では、インターネット向けサーバの災害復旧対応を題材として、システムの設計及び運用に関する能力を問う。</p>	

設問	解答例・解答の要点		備考
設問 1	a	・ HTTP over SSL ・ SSL	
	b	SSH	
設問 2	(1) c	プロキシサーバ	
	(2)	PC 及びプロキシサーバから特定 Web サーバへの通信がないこと	
	(3)	① ・ 電源が入っていない状態 ② ・ LAN に接続していない状態	
	(4)	他の従業員の PC を借用し、Web メールを使用した場合	
設問 3	(1) d	外部メールサーバ	順不同
	e	外部メール DR サーバ	
	(2)	参照する DNS サーバのキャッシュに切替え前の情報が保持されている。	
(3)	プロキシ DR サーバからサービス管理 Web サーバへの通信を許可するように FW-I の設定を追加する。		
設問 4	(1)	画像情報を最小限にし、文字主体にする。	
	(2)	フィルタリングするファイル種別に動画を追加する。	
設問 5	(1)	迷惑メール定義ファイルを最新にする。	
	(2)	I-DR システムの機器だけに行った設定の反映及び最新の修正プログラムの適用を、I システムの機器に行う。	

問2

出題趣旨	
<p>近年、スマートフォンやタブレット端末などの携帯端末の普及が急速に進む中、クラウドサービスに代表される企業内外の情報リソースを有効に利活用するために、BYOD (Bring Your Own Device)、すなわち個人所有の携帯端末の企業での利用が注目されている。</p> <p>本問では、イベント運営会社における社内システムのクラウドサービス利用への移行及び個人所有の携帯端末の導入を題材に、クラウドサービス及び携帯端末を業務で利用する際のセキュリティ上のリスクとその対応について問う。</p>	

設問	解答例・解答の要点		備考	
設問1	(1)	a ア		
		b カ		
		c ウ		
	(2)	機密性の高い社内のメールが外部に流出するリスク		
設問2	(1)	d 事業者		
		e 自社		
	(2)	43		
	(3)	クラウドサービス利用者のアカウント情報		
設問3	(1)	携帯端末を PC の USB ポートに接続する。		
	(2)	従業員個人所有携帯端末の機種と OS のバージョンを申請させる。		
設問4	(1)	f 個人所有携帯端末用の		
		g IMAP4		
	(2)	携帯端末メーカーの設定したセキュリティ機構が無効化され、一般のアプリケーションが本来利用できない権限で動作	することが可能になるから	
設問5	(1)	貸与 PC 中にある重要なデータが無線 LAN と個人所有携帯端末を経由して社外に故意に送信される。		
	(2)	項目	個人所有携帯端末と貸与 PC を無線 LAN で接続しない。	
		技術的対策	ディレクトリサーバとの連携によって貸与 PC の無線 LAN 機能を無効にする。	